

## 「アドベンチャー・ツーリズム」の宝庫

澄み切った空気と深い緑が心地良い徳島県上勝町の山中に、ジブリ映画「もののけ姫」の一場面をほうふつとさせる「苔の森」が広がる。標高約千メートルの山犬嶽にある苔の群生地は、近年人気を集める観光スポットの一つだ。苔の森や町内の滝の景勝地・雄淵（おんぶち）をはじめ、山道や古道を歩いて自然景観を楽しむ「アドベンチャー・ツーリズム」が、新たな徳島の観光資源として注目されつつある。

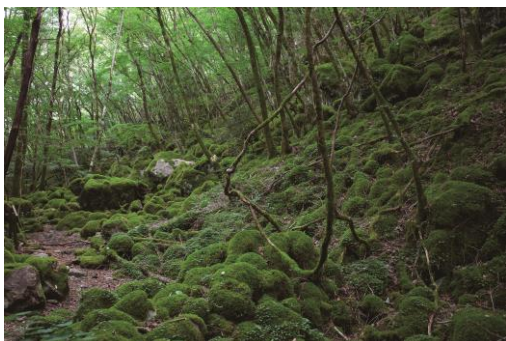
企画したのは、県東部15市町村や企業でつくる日本版DMO（観光地域づくり法人）の「イーストとくしま観光推進機構」。2020年度から「HIKE！TOKUSHIMA（ハイク トクシマ）」プロジェクトと銘打ち、現在までに上勝町や四国霊場12番札所・焼山寺周辺（神山町）、高越山周辺（吉野川市）など7地域21コースを設定した。道のりのほとんどが千メートル以下の低山で、冬でもあまり雪の心配がなく、日帰りで気軽に散策できる。

狙いはwithコロナ、afterコロナの時代を見据え、自然や文化体験を重視する外国人旅行者らの誘客だ。というのも、きっかけは外国から四国遍路に訪れた人たちの言葉だった。「徳島の山は神秘的で素晴らしい」「遍路道以外でさらに美しい自然を楽しみたい」。そうした声が相次いでいたことから、もっと徳島の山道の魅力を多くの人に知ってもらおうと、「HIKE！TOKUSHIMA」のアイデアが生まれた。

推進機構は今年3月、旅行業者にツアー商品化の参考にしてもうための冊子を作成。滝や溪流、社寺などコースの見どころに加え、ポイント間の距離や歩行時間の目安をまとめた。10月には全国の旅行業者や山岳ガイドを招いた初のモニターツアーも行った。

推進機構は「徳島はコロナ時代の観光に適したアドベンチャー・ツーリズムの素材の宝庫。既にツアーの商品化の動きがあり、今後もコースを広くPRしていきたい」と意気込む。

徳島新聞社 報道本部部次長 藤長 英之



「もののけ姫」の一場面をほうふつとさせる「苔の森」＝徳島県上勝町



美しい滝の景勝地として知られる「雄淵」＝徳島県上勝町